

埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について

1 改善に向けた検討の経緯

現行の公立高等学校入学者選抜は、平成24年度入試から、全ての受検生が原則、5教科の学力検査を受検し、1回の入試として実施している。

中学校学習指導要領(平成29年告示)では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力をバランス良く育成することとされ、平成31年3月の文部科学省通知では、高等学校入学者選抜において、各高等学校の教育目標の実現に向け、入学者選抜の質的改善を図る必要があるとされている。

また、令和3年に学校教育法施行規則が改正され、高等学校における三つの方針(「高等学校学習指導要領の定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」及び「入学者の受入れに関する方針」)を策定し、公表することが義務付けられた。それに伴い、入学者選抜においても、各学校が自校の「入学者の受入れに関する方針」に基づいた選抜方法とし、受検生が興味・関心を持って進路選択ができる選抜基準や選抜方法の見直しを図る必要がある。

さらに、部活動の地域クラブ活動への移行等も含め、生徒の学校内外における活動が今後ますます多様化することが見込まれることから、中学校の教員が生徒の全ての活動を把握するのは難しい状況となる。現在の入学者選抜方法では、部活動等の特別活動や学校外での活動については、中学校が作成する調査書に記載しているが、生徒の活動の多様化に伴い、調査書の在り方について、改善が必要な状況である。

そこで、令和4年12月から令和5年3月にかけて、令和4年度入試改善検討会議が開催され、令和5年3月、「埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について(第16次報告)」が埼玉県教育委員会教育長に提出された。この報告に基づき、令和5年6月から9月にかけて、令和5年度埼玉県公立高等学校入学者選抜方法改善協議会を開催し、具体的な改善策について検討した。

2 改善の主な内容

(1) 自己評価資料の提出、面接の実施

受検生の学びに向かう力や意欲、多様な活動等を多面的・多角的な観点から評価するため、受検生のこれまでの活動への取組状況等を、自らの言葉で表現する自己評価資料の提出を全ての受検生に求める。自己評価資料に基づき、全受検生を対象に、自らの言葉で表現する場として面接を実施する。ただし、自己評価資料そのものは評価しない。

また、面接の評価については、事前に評価の観点や規準を公表する。自己評価資料及び面接では、記入された実績を評価するのではなく、これまでの取組の過程や意欲、今後の取組に対する意欲等を評価する。

(2) 調査書の様式

中学校が作成する調査書の記載事項について整理する。

- ・ 1学年から3学年までの各教科の学習の記録（評定）の記載を基本とする。
- ・ 各教科の学習の記録（評定）以外については、自己評価資料において、受検生がこれまでの活動内容等について記載する。

(3) 選抜の特色化（共通選抜及び特色選抜）

【共通選抜】

全ての高等学校・学科・コースにおいて、学力検査、調査書、面接を資料として選抜する。

【特色選抜】

各高等学校は募集人員の一部を、学校・学科・コースの特色に応じて選抜することができる。学力検査・調査書・面接に加え、特色検査（実技検査・小論文等）の実施や学力検査等の傾斜配点を行うことができる。

各高等学校における目指す学校像、入学者の受入れに関する方針については、事前に公表し、受検生や保護者に十分周知する。

3 実施時期

- (1) 新しい入学者選抜方法は、令和9年度入学者選抜（令和8年度末実施）から実施する。
- (2) 令和8年度入学者選抜（令和7年度末実施）については、現行の入学者選抜方法の中で、新しい入学者選抜方法への移行期間として調査書の部活動に関する記載を、「特別活動等の記録」欄から「『その他』の項目」欄への記載事項とする。それに伴い、各高等学校の選抜基準の見直しも行う。

4 その他

現在試行的に実施している電子出願の検証及び入学許可候補者のウェブ上による発表の継続実施、その他、採点業務をはじめとした入試業務全般の見直し等を実施する。

1 自己評価資料提出、面接実施

受検生の学校内外での活動や意欲等を自らの言葉で表現する自己評価資料の提出を全ての受検生に求め、自己評価資料に基づき面接を実施します。

- 受検生が自己評価資料を作成することで、これまでの自己を振り返り、主体的に高等学校を選択し、入学後の高校生活を充実したものとする。
- 自己評価資料そのものは評価せず、自己評価資料に基づき面接を実施し、評価する。
- 面接の評価の観点や規準は事前に公表する。

2 調査書の様式変更

中学校等が作成する調査書の記載事項は、各教科の学習の記録（評定）の記載を基本とします。

3 選抜の特色化

【共通選抜】

全ての高等学校において、
学力検査・調査書・面接を資料として選抜します。

【特色選抜】

各高等学校は募集人員の一部を、学校・学科・コースの特色に応じて選抜をすることができます。学力検査・調査書・面接に加え、特色検査（実技検査・小論文等）の実施や学力検査等の傾斜配点を行うことができます。

4 実施時期

令和9年度入試（令和8年度末実施）から導入

現小学校6年生が受検予定

令和8年度入試（令和7年度末実施）は移行期間とする[※]

現中学校1年生が受検予定

※移行期間の対応…現行の入学者選抜における調査書の部活動に関する記載は、「特別活動等の記録」へ記載していたが、「その他」の項目への記載事項として扱う。それに伴い、各高等学校の選抜基準の見直しを行う。

5 入試業務の改善

現在試行的に実施している電子出願の検証及び入学許可候補者のウェブによる発表の継続実施、その他、採点業務をはじめとした入試業務全般の見直し等を実施します。

自己評価資料

年 月 日

埼玉県立 _____ 高等学校長 様

学校名 _____

氏名 _____

1 これまでの自分の体験や自己PRについて

Blank area for writing responses to question 1.

2 高校入学後に取り組んでみたいこと

Blank area for writing responses to question 2.

3 高校設定項目

各学校で設定することを想定

Blank area for writing responses to question 3.

現行の調査書様式

(様式1)
令和6年度入学志願者調査書
(様式2)
成績及び諸活動等の記録通知書

| | | | | | | |
|----------------|----------|------------|------|------|-------------------|---------|
| 志願先 | | 高等学校 | | 受検番号 | | |
| 第3学年 | 組 | 番 | 生徒氏名 | | | |
| 性別 | 生年月日 | 平成 | 年 | 月 | 日生 | |
| | | 卒業年月 | 平成 | 年 | 月 | |
| | | 令和 | 卒業見込 | | | |
| 1 各教科の学習の記録 | 教 科 | 評定 | | | 2 総合的な学習の時間の記録 | |
| | | 1年 | 2年 | 3年 | | |
| | | 国語 | | | | |
| | 社会 | | | | 3 特別活動等の記録 | |
| | 数学 | | | | | |
| | 理科 | | | | | |
| | 音楽 | | | | 1年 | |
| | 美術 | | | | 2年 | |
| | 保健体育 | | | | 3年 | |
| | 技術・家庭 | | | | 生徒会活動 | |
| 外国語 | | | | 学校行事 | | |
| 合計 | | | | その他 | | |
| 備考 | 5 その他 | 4 出欠の記録 | | 学年 | 欠席日数 | 欠席の主な理由 |
| | | 1 | | | | |
| | | 2 | | | | |
| | | 3 | | | | |

令和6年度埼玉県公立高等学校入学志願者調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。
令和 年 月 日 学校名
校長氏名 印
記入責任者
氏名

*様式1として利用するときは、「成績及び諸活動等の記録通知書」及び下段の「令和6年度...調査書の内容は、」を
で消すこと。また、様式2として利用するときは、「令和6年度入学志願者調査書」を で消すこと。

新制度における 調査書様式イメージ

(様式1)
令和〇年度入学志願者調査書
(様式2)
成績記録通知書

| | | | | | | | | | | | |
|---|------|--------|------|------|----|----|----|-------|------|-------|-----|
| 志願先 | | 高等学校 | | 受検番号 | | | | | | | |
| 第3学年 | 組 | 番 | 生徒氏名 | | | | | | | | |
| 性別 | 生年月日 | 平成 | 年 | 月 | 日生 | | | | | | |
| | | 卒業年月 | 平成 | 年 | 月 | | | | | | |
| | | 令和 | 卒業見込 | | | | | | | | |
| 学習の記録 | 評定 | 教科名 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | 外国語 |
| | | 1年 | | | | | | | | | |
| | | 2年 | | | | | | | | | |
| | | 3年 | | | | | | | | | |
| | | 計(/) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 合計 | |
| | | 備考 | | | | | | | | | |
| ※特別支援学級等に在籍する生徒で、評定を記述形式で記入している場合等に記載する。 | | | | | | | | | | | |
| 令和〇年度埼玉県公立高等学校入学志願者調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。 | | | | | | | | | | | |
| 令和 | | 年 | | 月 | | 日 | | 学校名 | | 印 | |
| | | | | | | | | 校長氏名 | | | |
| | | | | | | | | 記入責任者 | | | |
| | | | | | | | | 氏名 | | | |

*様式1として利用するときは、「成績記録通知書」及び下段の「令和〇年度...調査書の内容は、」を
で消すこと。また、様式2として利用するときは、「令和〇年度入学志願者調査書」を で消すこと。